

ソニーグループ製多孔質カーボン素材を用いた PFAS 対策製品開発についてのアンケート  
(文責 PFAS 対策技術コンソーシアム事務局、ソニーグループ担当者了解済み)

PFAS 環境修復用の吸着剤には活性炭やイオン交換樹脂が多用されます。ただし、ダイオキシン分析に重宝されてきたヤシ殻活性炭は PFAS については吸着性能が低く、石炭系、バイオマス系等、原材料や製造技術ごとに性能のばらつきがあります。イオン交換樹脂は一般的な活性炭の不得意な短鎖化合物に適しており、再生が容易ですが吸着条件に制限がある等、上水・地下水・排水・土壌・大気など目的ごとに適切な材料の選定が重要です。一般的な活性炭の国内製品では、特に現在規制されている PFOS, PFOA, PFHxS については一定の吸着性能を示しますが、短鎖から長鎖までのペルフルオロカルボン酸、ペルフルオロスルホン酸と前駆体の全てについて満足のできる吸着性能を持つ製品はありませんでした。

PFAS 対策技術コンソーシアムの会員でもあるソニーグループでは、30 種類の PFAS 一斉分析国際規格である ISO21675 に最適化する事で、本規格で測定できるほとんどの PFAS について 99%以上の吸着性能を持つ、多孔質カーボン素材の開発に成功しました。ソニーグループは、本材料を用いて国内 PFAS 対策技術開発に貢献するためにユーザー企業・研究機関・行政等の皆様のご意見をもとに、今後の製品開発を進めたいと考えております。

つきましては下記のアンケートにお答えいただければ幸いです。アンケート結果についてはソニーグループにおける製品開発以外での使用はありません。また特に興味深いご提案については担当者より個別に連絡させていただく場合もありますので、積極的なフィードバックをお願いできれば幸いです。

下記アンケートでは該当する項目に○をお願いします。

#### アンケート 1.

PFOS, PFOA, PFHxS の三物質については従来の安価な活性炭で一定の性能が見込めますが、ISO21675 や USEPA ドラフト 1633 の対象である 30 種類以上の PFAS について環境修復技術の開発を一年以内に予定していますか？

・はい ・いいえ

#### アンケート 2.

新たに開発したソニーグループ製多孔質カーボン素材をどのような用途に使ってみたいですか。該当するものすべてに○してください。

・上水の浄化 ・地下水の浄化 ・排水浄化 ・土壌浄化 ・作業環境大気の浄化  
・環境分析 ・食品分析 ・リスク評価

・その他（ ）

アンケート 3.

新たに開発したソニーグループ製多孔質カーボン素材を検討する上で、どのような形状を希望しますか。

・粉末 ・粒状 ・液状分散体

・その他（ ）

アンケート 4.

その他、ソニーグループ製多孔質カーボン素材に希望する製品仕様がありましたらご記入ください。

（ ）

その他ご意見（本件についてのご希望をご自由にご記入ください）

=====  
アンケート記入団体名(ご記入お願いします)

担当者氏名及び連絡先(メールまたは電話・fax)

(未記入でも構いませんが、ソニーグループからの連絡をご希望の方はご記入お願いします)

アンケート提出先：PFAS 対策技術コンソーシアム事務局（m-pfas\_consortium-ml@aist.go.jp）まで、メールでお送りください。特に締め切りは設けませんが、次回の打ち合わせ会議で集計する予定です。

# 本アンケートで知り得た個人情報につきましては、PFAS 対策技術開発に関する参考としてのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。また、回答者さまの同意がある場合を除き、第三者へ提供いたしません。PFAS 対策技術コンソーシアム事務局及びソニーグループは、個人情報の適正な管理に努めます。個人情報の取扱いに関するお問い合わせについては PFAS 対策技術コンソーシアム事務局までご連絡ください。